

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 令和4年度（2022年度）河川工作物アドバイザー会議の開催と予定について

(1) 第1回目の会議（令和4年（2022年）7月26日（火）～7月27日（水））

- ・7月26日（火）現地検討会及び室内会議 羅臼町にて

羅臼川において、5号床止工の状況と対応、オシヨロコマ長期モニタリング調査方法について、現地検討を行いました。

室内会議において、世界遺産委員会決議の対応、第2期長期モニタリング計画、サシルイ川、ルシャ川、オッカバケ川のダムの改良、ルシャ川の河床路、イワウベツ川の状況等について報告と議論を行いました。

- ・7月27日（水）現地検討会 斜里町にて

ルシャ川において、河床路の状況、治山ダムの改良、サケ類長期モニタリング調査方法について、現地検討を行いました。

(2) 第2回目の会議（令和5年（2023年）1月下旬頃に札幌市で開催予定）

2 令和4年度（2022年度）長期モニタリング取組状況について

知床世界自然遺産地域科学委員会第2期長期モニタリング実施計画に基づき、以下の調査について実施をしています。

(1) オシヨロコマの生息状況に関するモニタリング調査

知床半島内の遺産隣接地域を含む42河川を対象に水温調査を実施し、うち8河川でオシヨロコマの捕獲調査及び16河川で外来種を含めた魚類相・生物量の推定を目的とした環境DNA解析による生物量調査を実施しました。

(2) サケ類の稚魚降下数調査（隔年実施）

ルシャ川、テッパンベツ川、ルサ川において、サケ及びカラフトマス降下稚魚の個体数について4月下旬から6月中旬にかけて調査を実施しました。

3 第44回世界遺産委員会決議に係る対応について

世界遺産委員会において決議された知床の保全状況に係る決議事項7のa), b), c)の勧告について、保全状況の報告内容を整理しました。

4 今後の予定

北海道森林管理局・北海道では、今後も継続して、ルシャ川のダム改良、河床路実証試験及びオッカバケ川並びにイワウベツ川のダム改良を実施します。本工事に当たっては、河川工作物アドバイザー会議の技術的な助言を得ながら、また、地元関係者から意見を伺いながら進めます。